

これも参院選の大争点

ブラック企業

安倍は肯定

あなたは

きのう(4日)公示された参院選。「ブラック企業」の代名詞として立候補に批判があった前フタミ会長を、安倍自民は結局、比例名簿に載せた。つまり「ブラック企業」を肯定したのだ。そんな自民が圧勝し、国会でねじれが解消すると、労働者にとってどんな恐ろしい社会になるのか。有権者はよくよく考えた方がいい。

認めますか

「今の自民党は正しい方向に進んでいる」きのう夕方、自民党公認のワタミ前会長、渡辺美樹(53=比例区)が、JR上野駅前で声を張り上げた。会社帰りのサラリーマンやOLなど大勢が行き交っていたが、ほとんど素通り。約10分

自民圧勝なら社会全体が暗黒化



若者が使い捨てにされる社会に(渡辺美樹候補)

で働け」社員に配布される会社の理念集にはそう記されている。実際、08年6月には、入社2カ月の森美菜さん(当時26歳)が過労自殺した。「渡辺氏の公認をめぐってはネットを中心に非難ゴーゴー。自民党内でも疑問視する声が上がリ、党本部にも抗議が殺到しました(永田町関係者)だから、参院選を取り

仕切る石破幹事長の横田一氏が言う。も、週刊誌に「先日、美菜さんが働いていた横須賀の店を訪ねてみたんです。店内には紙が山ほど来ています。(渡辺)本々が並べて張ってあり人にも(ブラック企業か否か)きちんと説明するよう何度も言っていますし、説明が十分でないとなれば私どもも考えます」なん

ミの姿勢は、びったり重なり合います。安倍自民が参院選に勝ち、ねじれが解消するというのはそういうこと。大企業が優遇され、ブラック化が進み、労働者がボロ雑巾扱いです。若者の怒りが投票率アップにつながることを期待しますよ」